

ベイエリア都市

活力

城陽

CITY IN THE BAY AREA
VIBRANT CITY

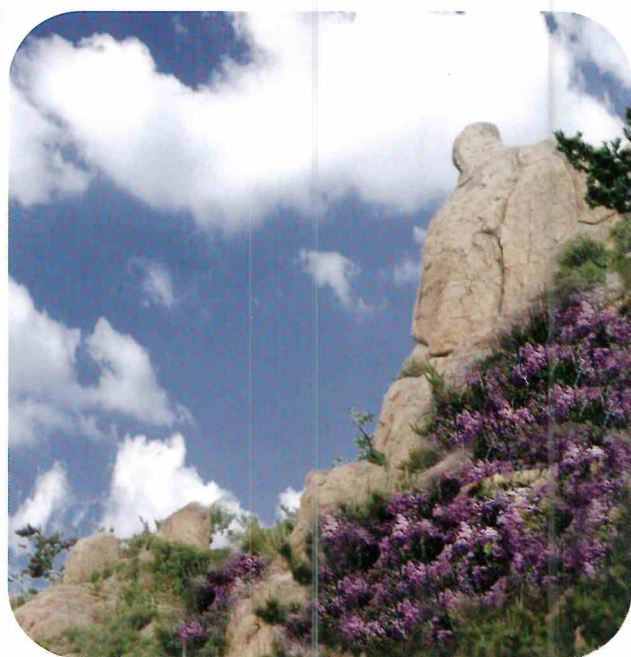
青島・城陽

QINGDAO·CHENGYANG



城陽へようこそ▶▶

城陽へ投資するのは、動向を見極め、
未来を投資することである



目次

CONTENTS

P4

- ・ 青島概況
-

P5

- ・ 城陽概況
-

P7-12

- ・ 四区一園
- ・ 六大産業チェーン
- ・ 三大機能区
- ・ 八大優位性

P14

- ・ 投資招致政策
-

P15-16

- ・ 対日協力の良好な基礎
 - ・ 日本との協力産業分野
-

P18-20

- ・ 城・誠・成 共に未来を勝ち取ろう
- ・ 連絡先



青島——沿海重要中心都市

青島は山東半島、黄海の浜に位置し、山海が混然一体化となり、「赤瓦緑樹、澄海青空」という独特の風貌を持ち、国連から人類の居住に最適な都市の一つと評価されている。

1000万

常住人口
1000万人超

11293

陸域面積
11293平方キロ

5223

市街地面積
5223平方キロ

12240

海域面積
12240平方キロ

905

海岸線
905キロ

温和で湿潤な気候であり、夏の平均気温は24.8℃、冬の平均気温は0.7℃、夏に猛暑がなく、冬に厳寒がないものである。

ここ数年来、青島市は習近平総書記の青島事業に対する重要な指示要求を深く貫徹、実行し、市場化、法治化、国際化ビジネス環境の構築をめぐり、仕事の便利さ、法治の公平さ、コスト競争力の強さ、生活と仕事の便利さの4つの重点分野に焦点を当て、問題の方向性を堅持し、具体化、プロジェクト化、リスト化されたビジネス環境の持続的な最適化を推進している。2022年、全市の総生産額は14920.75億元に達した。



城陽——青島地理センター

世界に目を向けると、大都市はいずれも海湾の中心部で形成されている。青島発展のエンジとなった膠州湾の中心部に位置する城陽は、青島地理センターや交通の中枢として、戦略的地位がさらに際立っている。城陽は青島北部の経済隆起帯の形成を推進することに焦点を当て、青島の都市発展空間の配置を最適化する事業の中で重任を担うことである。

1994

1994年
に成立

583.68

管轄区面積
583.68平方キロ

8

8つの街道を管轄

3

3つの機能区

115万

常住人口
115万

1349億

2022年生産総額
1349億元



城陽は人文が奥深い。今から約1700年の歴史を持つ法海寺は、青島に現存する最古の寺院である。後漢経学の大家・鄭玄氏は城陽に康成書院を設立し、青島書院文化の先駆けを開いた。伏湛、童恢、王邦直、顧炎武、胡峰陽などの歴代文化著名人はいずれも城陽と深い歴史的つながりがある。



“城”を以って接し、百業は盛んになる

ENCOUNTER PROSPERITY
IN THE CITY

産業パーク



◆ 先進製造業集積区の建設

現代産業システムと技術革新システムはさらに整備され、主導となる産業が際立ち、産業生態が形成されている。

科学技術革新、成果転化と産業化は閉ループを形成し、先進製造業クラスター建設に重大な突破が遂げられる。

デジタル+産業が加速的に推進され、戦略的新興産業、「四新」経済が質の高い発展の重要な支えとなっている。

製造業の増加率は40.1%以上、「四新」経済の増加率は39.5%以上を占める。



◆ 中日韓地方経済貿易協力先行区の建設

日本・韓国から実質的な外資利用は年平均10%以上増加している。

国内・国際二重循環の重要なノードとなり、青島の「一帯一路」国際協力の新たなプラットフォームづくりに重要なサポートを提供する。



◆ 人文生態幸福の家の建設

都市の様相は著しく変化し、ベイエリアの都市風貌が十分に明らかになり、公園都市建設のモデルとなる。

市民の全面的な発展と共同富裕化を促進し、老いて楽しみ、働き盛りになり役に立たせ、幼くて長教の「全齡友好都市」を作る。

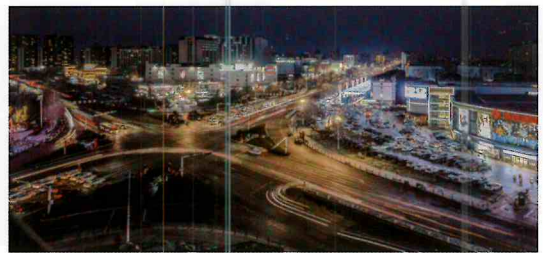


◆ 革新創意リード区の建設

ハイテク区の革新競争力は絶えず強化され、5年間の奮闘により、総合実力は再び全国トップ10に戻らせる。

科学技術企業の集中を加速させ、国家級ハイテク企業、「専精特新」などの高成長性企業、上場企業の数の「3つの倍増」を実現し、それぞれ2500社以上、1800社以上、30社以上に達した。

城陽は科学技術企業が盛んに成長する肥沃な土地、企業家が夢を達成する楽園、若者が起業して就職する家となる。



◆ 膠東経済圏消費中心区の建設

内外を貫通するの交通中枢の役割が引き続き拡大し、人の流れ、物流、情報の流れ、資金の流れが城陽で相互に結合され、地域都市圏の「同一都市効果」が十分に現れる。

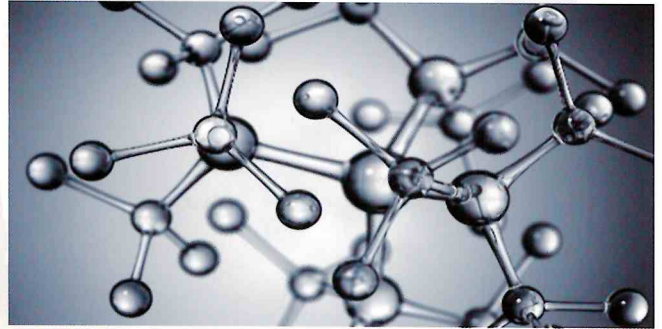
より多くの消費シーンを育成し、持続的「夜経済」に力を入れ、飲食・宿泊・観光・娯楽・教育を一体化したハイエンド生産・居住消費総合体を建設し、膠東の「インフルエンサータウン」を構築する。

六大産業チェーン

軌道交通装備産業チェーン



高分子材料産業チェーン



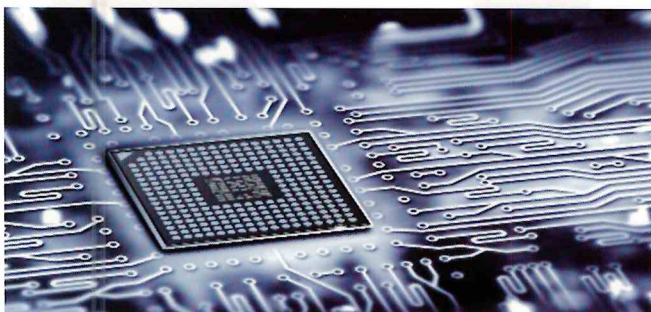
バイオ医薬及び医療機器産業チェーン



精密計器産業チェーン



集積回路産業チェーン



エネルギー貯蔵産業チェーン



三大機能区



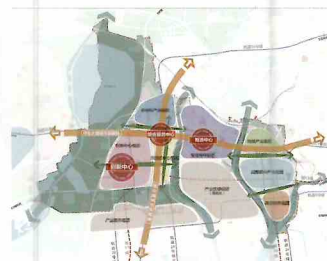
青島ハイテク産業開発区(国家レベル)

青島ハイテク区は「1+2+1」現代産業体系を集中的に発展させ、その中、1つの核心産業、すなわち生物医薬及び医療機器産業が国際的な影響力と国内競争力を持つ「中国健康バレー」の構築に力を入れている;2つの基幹産業、すなわち次世代情報技術産業とスマート製造産業;1つの支え産業、すなわち現代サービス業となっている。産業クラスター効果が現れ始め、相次いで国家レベル産業基地6カ所が承認され、青島市の80%以上のロボット企業と1/3以上のバイオ医薬類の市場主体が集まっている。国家レベルのインキュベーター17箇所、市レベル以上の技術革新センター88箇所、ハイテク企業482社、国家科学技術型中小企業736社を有し、1万社となる登録企業の中で高企業数は山東省が第一である。青島中学校など7つの質の高い学校はすでに学生募集が開始され、3つの学校は間もなく開校され、1つの学校は建設に着手し、青島市のレベル高い教育の高地になることに加速させている。

青島軌道交通産業モデル区(省レベル)

青島軌道交通産業モデル区の主導産業は軌道交通であり、同時に新エネルギー及び新材料、集積回路などの新興産業の発展に力を入れている。現在ではすでに高速鉄道地下鉄の完成車生産、軌道交通の重要な核心システムの研究開発製造、国家基礎応用技術の協同革新プラットフォームを一体化した産業集積区に発展した。国家先進製造業クラスター、国家初の戦略的新興産業クラスター、国家新型工業化産業モデル基地、国家対外貿易モデルチェンジ・グレードアップ基地(鉄道機関車)、国家グリーン工業団地などに相次いで入選した。

モデル区には全市の90%以上の軌道交通装備製造資源が集中しており、現在、中車四方株式会社などのリーディングカンパニーと220社以上のコア関連企業がある。国家高速列車技術革新センターの「金看板」に基づき、モデル区は国家級革新プラットフォーム10社、省級革新研究開発プラットフォーム11社を集め、ハイテク企業は283社に達した。



青島膠州湾総合保税區(税関特殊監督管理区)

園區の実際の管轄面積は2.8平方キロ(そのうち、税関特殊監督管理区の面積は1.58平方キロ)であり、現在200社以上の企業が駐在している。改革以来、保税研究開発、保税修理、国境を越えた電子商取引速達物監督管理センター、中・欧定期列車国際陸運貨物の搬入区、特殊車両保税融資賃貸など5つの全省の「最初のリスト」を続々と完成した。

三大産業、保税加工、保税物流、保税サービスを発展させる。四大新型業務、クロスボーダー電子商取引、展示取引、保税メンテナンス、融資リースを推進し、装備製造、新型材料、電子情報、保税物流の4つの優位産業が形成されている。



5大センターの建設

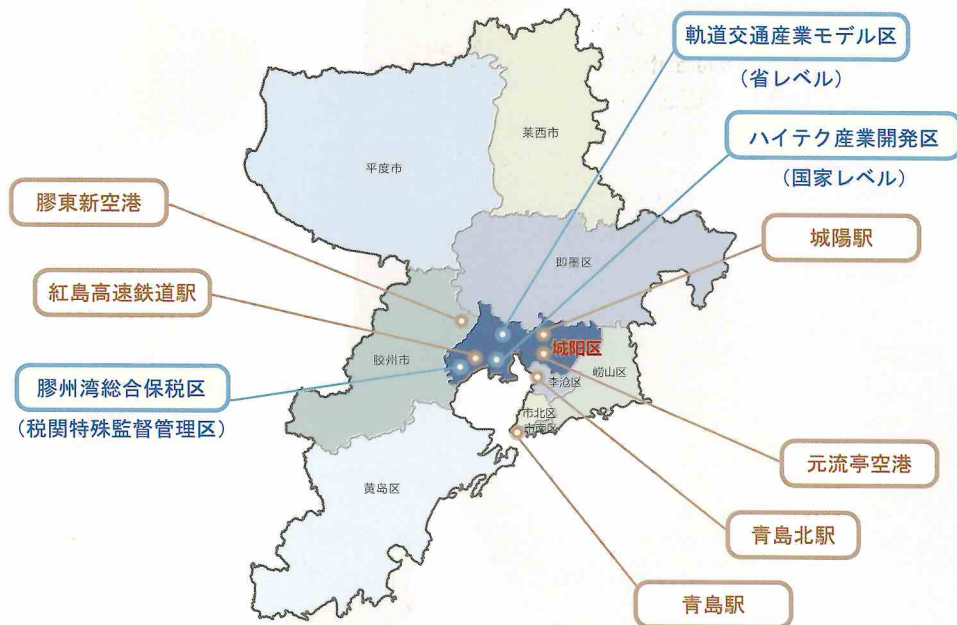
加工製造センター、研究開発設計センター、物流分配センター、検査修理センター、販売サービスセンター

8大優位性



地理的優位性がより顕著になる

青島地理センターとして、城陽は東西を結び、南北を貫通し、青島の北へ向かって発展する「橋頭堡」であり、環湾都市区建設の重要な一極である。



交通ネットワークがさらに完備している

地下鉄1号線、8号線という2つの線路が開通することに伴い、城陽が「双鉄」貫通時代に入り果たした。2030年には城陽において9本の地下鉄線路が計画され、将来の青島都市部において地下鉄のカバー率が最大となり、資源の集約能力がさらに向上している。



更なる発展の余地

流亭空港は転場し、33平方キロの貴重な空間を空け、長期にわたって束縛されていた空域が開放された。非効率なエリア、園区の改造・向上は巨大な潜在能力を放出することが期待されている。



産業基盤がより強固に

三大機能区の優位性が際立ち、産業クラスターの集積が加速し、国家レベルのハイテク企業数は全市の第1位であり、市レベル以上の「専精特新」などの高成長性企業、上場企業数は全市の上位に位置している。



革新性の向上

ハイテク区国家双创モデル基地、国家高速列車技術革新センターなどの国のブランド革新プラットフォームを持ち、リハビリ大学、中国科学院ソフトウェア所青島支所などの大学と科学研究所を持っており、絶えず集積している革新資源は、城陽の未来発展の潜在力である。



科学技術革新分野の成果が際立っている

城陽区には23軒の重点実験室があり、そのうち、国家重点実験室は2軒となった。技術革新センターは98軒であり、そのうち、国家レベル1軒、省レベル6軒となった。青島国際博士ポストイノベーション創業園、青島特殊食品研究院、青島海洋食品栄養・健康イノベーション研究院などのレベルの高いイノベーションプラットフォームが建設された。



国家レベルのハイテク企業は1550社(全市第一位の数)、中車四方株式会社は全国企業科学技術革新500トップ入りに成功した。「時速600キロ高速磁気浮上試験サンプル車の試験走行成功」という成果は2020年度山東省の「10大科学技術成果」に評価された。



優れた教育医療資源の集積

清華育才実験学校城陽キャンパス、青島培文実験学校、国科大(青島)附属学校、首都師範大学青島城陽附属学校、中央民族大学附中青島学校など11校のレベルの高い学校が着地した。北大人民病院青島病院、青島市中病院城陽院区などの良質な医療資源が集積している。



金融発展環境は絶えず最適化されている

「城陽区資本市場の発展加速に関する意見」をグレードアップ・最適化し、累計3500万元余りの支援資金を提供した。銀行預金貸付残高は3000億元を突破し、中基協届出基金は100ストックを突破した。現在、上場企業とは金融機関はそれぞれ17社、73社となった。



青島・城陽 99

QINGDAO·CHENGYANG

“誠”意を持ち、期待できる将来に

ENCOUNTER THE FUTURE
IN OPENESS

顕著な投資招致政策の優位性 ◯

・ 日本からの投資

年内に新たに設立や投資を増やした日本プロジェクトに対し、直接投資方式(FDI)で実際に日本外資を使用した場合、外資の入金規模、産業類別、業界地位などの要素に基づき、入金外資に3~6%の資金奨励を与え、単一プロジェクトに最高1億円の奨励を与える。

・ 軌道交通

年間主要業務収入が初めて500億元、100億元、50億元、30億元、10億元を突破した軌道交通装備製造企業に対し、それぞれ500万元、300万元、200万元、100万元、50万元の奨励金を与える。城陽区の関連要求に合致する製造業類プロジェクトに対し、プロジェクトの固定資産投資の5%に基づき、最高2000万元の資金援助を行う。

・ 資本市場

国内のマザーボード、創業ボード、科学イノベーションボードの上場と「バックドア」「リバースモーゲージ」などの方法で上場し、上場企業の登録地を城陽区に移転する場合、及び国内外の上場企業が登録地を城陽区に移転する場合、企業の上場プロセスに基づき、最高1500万元の資金補助を行なう。海外株式取引所のマザーボードに初上場した城陽区の企業は、企業の上場プロセスに基づき、段階的に1100万元の奨励金を与える。

・ 本部経済

城陽区に新規導入され、認定された払込登録資本金が1000万元以上の本部企業には、払込登録資本金の1%に基づき、4000万元以下の一括補助を行い、補助資金は認定後翌年から3年以内に全額に提供する。

・ 人材政策

新型研究開発機構、企業の海外人材導入を奨励し、国家・省・市レベルの海外ハイレベル科学技術人材(プロジェクト)に認定された場合、上級支援資金に基づいて新たに50%の資金を奨励する。重点企業が正規雇用で海外エンジニアを招聘し、年収が50万元を超えた場合、雇用企業が実際に支給した個人労働報酬に基づき、3年連続30%の補助資金を給付する。条件に合致した企業のハイエンド人材及びチームに対し、定住、医療、子供の教育などの面で相応の政策優遇を享受する。

・ 外国籍人材給与の便利化

外国籍人材が給与の購入外貨支払業務を行う場合、電子雇用契約を紙の雇用契約に置き換えることができ、雇用企業または指定者に有効な身分証明書に基づいて給与の購入外貨支払業務を行うことができる。

日本との協力における強固な基盤 ◯

- 国家レベル中日韓経済貿易協力プラットフォームである中日ビジネス理事会青島連絡弁公室を構築した。
- 中国国際商会中日韓企業交流センター青島事務所が城陽に着地した。
- 区内に駐在する日本企業は累計400社余りある。
- 契約利用外資は19.83億ドルである。
- 対日輸出入貿易総額は101.82億元となった。



中日韓ビジネス理事会青島連絡弁公室

- 青島市で率先して「城陽区日韓産業発展促進に関する政策措置」を打ち出した。
- 「2022中日韓ビジネス環境モデル都市賞」を受賞した。
- 日韓(青島)輸入商品博覧会、北海道物産(食品)中国オンラインプロモーション、日本商品中国オンライン推薦会などの経済貿易活動を成功裏に開催した。
- スマートシティ、医療健康、水素エネルギー貯蔵エネルギーなどの産業分野で実務的な協力を展開することに期待しておる。



2022中日韓ビジネス環境モデル都市賞



日本との協力産業分野 ◀

・スマート製造産業

- 受注市場の開放：スマート製造、工業インターネット、CIMプラットフォーム構築、ビッグデータセンターなどの分野。
ライフサイクル金融支援：入園企業と招商プロジェクトに株式投資、融資賃貸などの金融サービスを提供する。
- 専門園區の積載：新城建産業園、デジタル科学技術産業園などの園區を持ち、敷地面積は490ムー余り、建築面積は約100万平方メートルで、付帯設備が完備している。
- 専門チームの集まり：すでに青島市新城建産業連盟を設立し、百度、京東、Inspurなど112社のリーディングカンパニーの加盟を吸収した。



・医療健康産業

- 産業位置づけ：「北中国の大市場」に焦点を当て、一流医療美容機構集積区、国際化医療美容専門人材育成基地、中西結合の医療養老モデルセンターを構築する。
- 連携方向：専門病院、養老、医療美容などに焦点を当て、医養健康産業の発展分野における協力の新たな道を探る。



・水素エネルギー貯蔵産業

- 水素エネルギー貯蔵産業チェーン：上流電解水素及び中流燃料電池のコア部品生産に焦点を当て、製造・貯蔵・添加・使用を一体化した水素エネルギー貯蔵産業チェーンを形成する。
- エネルギー貯蔵電池産業チェーン：中流エネルギー貯蔵電池の核心部品生産及び電池システム集積に焦点を当てる。



青島・城陽 99

QINGDAO·CHENGYANG

“成”を以って接し、心が通じ合える

ENCOUNTER FRIENDSHIP
IN SUCCESS

「城・誠・成 未来を勝ち取ろう」



紅島駅



方特夢幻王国



アスリーカン契約



虹子河ダム



ゴダード杯中国世界青少年サッカー大会



リハビリ大学



紅島韓家民俗村



惜福鎮七瀾谷



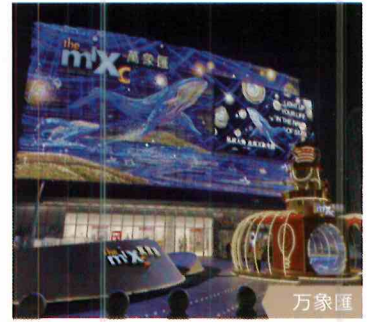
白砂河畔



国科・建設中



ルバン風情街



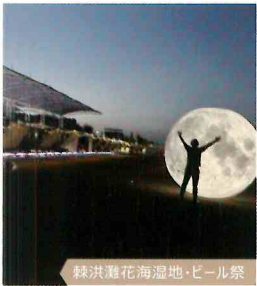
万象匯



科捷智能科創板上場



紅島アサリ祭



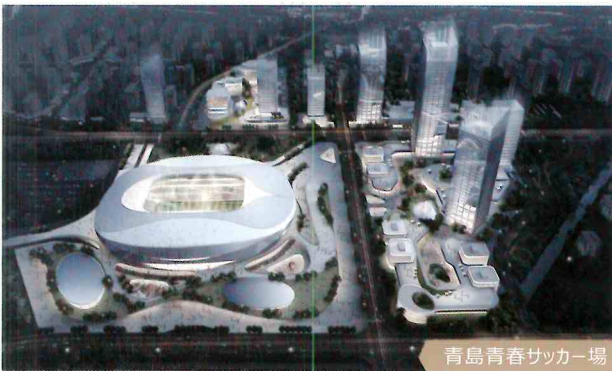
棘洪灘花海湿地・ビール祭



流亭湖・陽文化園・無形遺産文化祭



白沙河フルコースマラソンリレー



青島青春サッカー場



嶗山ダム



烤宴・呂家庄夜市



桜祭り



人民広場

「城」を以って接し 未来を勝ち取ろう



- 城陽区中日韓協同発展促進センター
0086-0532-66796839
- 城陽区企業誘致サービスホットライン
0086-0532-87866201/ cyqzsj@163.com
- ハイテク産業開発区投資招致部
0086-0532-68686978
- 軌道交通産業モデル区投資招致部
0086-0532-87701827
- 膠州湾総合保税區投資招致部
0086-0532-87828882



城企